

発達上の課題を有する受刑者の概数調査について

調査概要

調査対象者

令和5年5月17日から同年6月6日までの間に、
処遇施設において刑執行開始時調査を実施した受刑者
(医療上、処遇上等の理由により、通常の刑執行開始時調査を行うことができない者等を除く。)

調査方法

処遇施設に対する調査 (医師による診断結果等)
自記式アンケート調査 (ASRS-v1.1、AQ日本語版・成人用 等)

結果概要

対象者 **877名** (男778名、女99名)

○ 対象者全体

	人数	年齢 (平均)	入所度数 (平均)	再入者	(%)	能力 検査値 (平均) ^{※1}	発達障害 又はその疑い のある受刑者 ^{※2}	(%)
男	778	45.5	3.0	407	52.3%	83.1	89	11.4%
女	99	50.7	2.1	46	46.5%	82.1	13	13.1%
合計	877	46.1	2.9	453	51.7%	83.0	102	11.6%

(男8名未実施)

※1 数値はCAPAS
能力検査の結果

○ 発達障害又はその疑いのある受刑者^{※2}

	人数	年齢 (平均)	入所度数 (平均)	再入者	(%)	能力 検査値 (平均) ^{※1}
男	89	47.1	3.3	50	56.2%	75.1
女	13	47.1	2.7	6	46.2%	77.9
合計	102	47.1	3.2	56	54.9%	75.5

(男1名未実施)

発達障害又は
その疑いのある受刑者^{※2}
102名 (11.6%)

※2 発達障害の診断をされている者
又はアンケート調査で該当した者